

ベーシック

英語 ENGLISH



企画の概要

学力格差の広がりが著しいと言われる英語ですが、生徒一人ひとりの理解度に合わせた学習量を確保することで、必ず成果が期待できる教科でもあります。ベーシック英文法では、使用単語の難易度に徹底的にこだわり、高校基礎レベルの単語で問題を構成しています。また、問題演習(トレーニング)に入る直前に「単語チェック」コーナーを毎回收録し、単語の理解不足によって文法学習が中断しないよう配慮しました。中学英語と高校の英文法をつなぐトレーニング教材として最高の使いやすさを追求しています。

ベーシック 英文法

BASIC

第3講 >>> 時制 (1)

1 現在・過去

学習のポイント 時制の基本である、現在形、過去形の用法を覚えよう。

- 1 Mt. Everest is the highest mountain in the world.
(エベレストは世界で一番高い山です)
- 2 My sister takes a shower every morning.
(姉は毎朝シャワーを浴びます)
- 3 The earth goes around the sun.
(地球は太陽の周りを回ります)
- 4 Tom leaves Tokyo for Fukuoka tomorrow morning.
(トムは明日の朝、東京を発って福岡に向かいます)
- 5 We had a very good time at the party last night.
(私たちは昨夜、パーティーで楽しい時を過ごしました)
- 6 I often went fishing when I was in my twenties.
(私は20代の頃、よく釣りに行きました)

Words

- take a shower
「シャワーを浴びる」
- have a good time
「楽しい時を過ごす」
- go ~ing
「〜しに行く」
- in one's twenties
「20代の頃に」
(twentiesをteensにすれば10代、thirtiesにすれば30代)

基本時制

• 時制とは、時間についての言い表し方で、英語の場合、動詞の形を変化させることで、それを表します。基本的には、**現在形**、**過去形**、**未来形**、の3種類ですが、進行形、完了形というものとの組み合わせで、12の時制ができます。

現在形の用法

- (1) 現在行われている動作や現在の状態を表します。▶ 例文1
- (2) 現在の習慣や繰り返しを行う動作を表します。▶ 例文2
- (3) 不変の真理を表します。▶ 例文3
- (4) 確定した未来を表します。▶ 例文4
- (5) 時や条件を表す副詞節の中で、未来形の代用として用いられます。(次講)

現在形の形

- be 動詞 → is, am, are
- 一般動詞 → 原形と同じですが、主語が3人称単数の場合は(原形 + (e)s)。

過去形の用法

- (1) 過去に行われた動作や過去の状態を表します。▶ 例文5
- (2) 過去の習慣や繰り返し行った動作を表します。▶ 例文6
- (3) 時刻の一致により、現在形を過去形にする場合があります。(次講)

過去形の形

- be 動詞 → was, were
- 一般動詞 → 規則動詞は(原形 + (e)d)、不規則動詞は動詞によって異なります。

単語チェック

P.21で扱う単語を確認しよう。

- right: 直角の angle: 角(度) degree: (角度の単位の)度 once: かつて
the British Empire: 大英帝国
temple: 寺 shrine: 神社 discover: 発見する spend: (金額を)使う
play: 演劇、芝居

20

学習のポイント

「スタンダード」で定評のある、わかりやすい基本例文と丁寧な解説を収録。

単語チェック

トレーニングで使用される重要単語をあらかじめ明示することで意味をしっかりと理解させます。これにより、生徒は文法事項、基本構文の習得に集中できます。

トレーニング

> 和訳完成 < 現在・過去

1 次の英文の動詞に注意して、全文の和訳を完成させなさい。

- 1 Mt. Fuji is the highest mountain in Japan.
富士山は日本で()。
- 2 Mike usually goes to school by bike, but this morning he walked to school.
マイクはいつもは自転車で学校に通っていますが、()。
- 3 The train arrives at the station at nine every day.
電車は()。
- 4 I often visited Hokkaido when I was young.
私は若いとき、()。
- 5 The earth goes round the sun.
地球は()。
- 6 I'll come as soon as I'm ready.
()参ります。
- 7 We'll go on a picnic if it is fine tomorrow.
私たちは()、ピクニックに行きます。
- 8 What time does the concert end this evening?
コンサートは今夜()。
- 9 A right angle has ninety degrees.
直角は()。
- 10 The United States of America was once part of the British Empire.
アメリカ合衆国は()。

> 通読補充 < 現在・過去

2 次の日本語に合うように、()に通語を入れ、英文を完成させなさい。

- 1 京都には多くの有名なお寺や神社があります。
Kyoto () a lot of () temples and shrines.
- 2 太陽は東から昇り、西に沈みます。
The sun () in the east, and () in the west.
- 3 コロンブスが1492年にアメリカを発見した。
Columbus () America () 1492.
- 4 私は昨夜夕食の後でコーヒーを2杯飲みました。
I () two () of coffee after dinner last night.
- 5 月は地球の周りを約4週間で回ります。
The moon () () the earth in about four weeks.
- 6 私は若いときは、毎週海に泳ぎに行きました。
When I was young, I () () in the sea every week.
- 7 あなたは昨年、休暇にどのくらいお金を使いましたか。
How () did you () on your vacation last year?
- 8 それらの芝居の中でどれが一番よかったですか。
Which of those plays () you () the best?

● まとめの問題

トレーニングで個別に扱ってきた問題パターンを組み合わせた複合問題を演習することで、表現・用法の理解を深めます。気づきにくい文法事項の細かな違い、気をつけるべきポイント、落とし穴を意識化し、弱点を克服できます。

ベーシック 英語長文

BASIC

第3講 >>> 時制 (1)

① 次の英文を読んで、下の各問に答えなさい。

My father has told this story many times. He was a mining engineer. He worked in many different places.

When he was a young man, he was ① (work) in Texas. ② The company sent Father there to open a new mine. The mine was in a hill in Texas. It was sixty miles to the nearest city. The life there was difficult. Mother didn't go with Father. She stayed at home in Chicago. The company ③ (say) that Father would not have to stay more than a few months. ④ The work was going well. He and Mother ⑤ (write) letters to each other. It was difficult for letters to reach Father. The mail arrived there once a week. At that time, about forty years ago, there was no railroad. There were few roads. Phone lines didn't reach there then.

One night ⑥ (ready / bed / was / Father / getting / for). It was raining a little. The wind ⑦ (blew) so strong. Father ⑧ (go) out and looked around the mine. The wind was blowing harder and harder. Suddenly something hit his eye. The pain was very strong. He rubbed his eye. The pain continued. Tears came to his eyes.

(1) ①, ③, ⑤, ⑧の動詞を適切な形に直しなさい。

① _____ ③ _____ ⑤ _____ ⑧ _____

(2) 下線部②を和訳しなさい。その際、thereを具体的にすること。

(3) 下線部④を和訳しなさい。

(4) ⑥の()内の語を、「父は寝る準備をしていました」という意味になるように並べかえなさい。

(5) 下線部⑦の動詞の原形と意味を書きなさい。

原形 _____ 意味 _____

(6) 約40年前のテキサスはどんな様子でしたか。日本語で説明しなさい。

● 語訳 mining engineer 「鉱山技師」 Texas 「テキサス州」 company 「会社」 Chicago 「シカゴ」 a few 「2, 3の」 each other 「お互い」 It is ~ for ~ to ... 「～にとって…することは～である」 railroad 「鉄道」 few 「ほとんど～ない」 pain 「痛み」 rubbed < rub 「こする」

◎ ヒント

- この話がいつのことなのかを考えると比較的簡単にわかるはず。
- to 以下は目的を表す副詞(的)用法の不定詞。
- 「～する準備をする」という連語を考える。
- 2段落目の最後、about forty years ago 以下の文をまとめるとよい。

まとめの問題

> 語彙選択 < 現在・過去・未来

① 次の()内から適する語(句)を選び、○をつけなさい。

□1) Tom and Jim (do, does, did) their homework in the library after school every day.

□2) It (begin, begins, began) to rain as soon as I came home.

□3) Fish (breath, breathe, breathes, breathed) through gills in water.

□4) Kyoto and Nara (have, has, had) many famous temples and shrines.

□5) My brother threw the ball and (break, breaks, broke) the window.

□6) The sky (get, gets, got) darker and darker as night came on.

□7) John (come, comes, came) to see me the day before yesterday.

□8) We (hear, hears, heard) sound with our ears.

□9) People (have, has, had) five senses: sight, smell, touch, taste, hearing.

□10) Mary and I (meet, meets, met) our old friend two days ago.

> 書き換え < 現在・過去・未来・進行形の区別

② 次の文を()内の語(句)を用い、()の指示に従って書き換えなさい。

□1) Mary does this work. (tomorrow) (willを用いた未来形の文に)

□2) The children swim in the pool. (now) (進行形の文に)

□3) She read these books. (last week) (疑問文に)

□4) Mary has a party. (next Saturday) (be going toを用いた未来形の文に)

□5) He goes to school by bus. (always) (疑問文に)

□6) Mary and I watch a soccer game on TV. (at that time) (進行形の否定文に)

□7) My father lies on the beach. (all day) (過去形の文に)

□8) Kenji plays soccer with his friend. (yesterday) (否定文に)

● 演習問題

200語前後の英文を、ベーシック英文法のカリキュラムに沿って配列。文法学習の流れに即して進められる高校入門レベルの読解テキストです。

運用例 (1コマ110分)

確認テスト(前回の復習)	20分
↓	
学習のポイント①	15分
↓	
トレーニング	10分
↓	
学習のポイント②	15分
↓	
トレーニング	10分
↓	
学習のポイント③	15分
↓	
トレーニング・まとめの問題	10・15分

※その他の運用例

- 確認テストは、「前回の復習」としてではなく、当日の授業の最後に使用する。
- 学習のポイントの中に単語チェックを含む。
- 上記は英文法の運用例です。

- ※ベーシック英文法の「学習のポイント」は、スタンダード英語Ⅰ、Ⅱの「基礎学習」と同内容です。
- ※ベーシック英語長文の問題は、スタンダード英語Ⅰ、Ⅱの「総合問題」と同内容です。
- ※ベーシック英文法の「トレーニング」は、精選トレーニング英文法の問題と同内容です。

数学 MATHEMATICS



企画の概要

新学習指導要領の実施に伴い、高校教科書での取り扱い内容が難化した数学では、学力格差のさらなる広がりが懸念されています。これに対応するため、大学受験を目指す生徒向けの基礎学力定着型教材としてベーシックの数学を新発売。復習→基本公式→例題・問題演習→実践問題演習という基礎基本の定着に最も有効なフローを採用しています。教科書内容への理解を深め、高校数学の基礎知識習得に最適の教材です。集団授業での使用はもちろんのこと、個別指導や自習にもご使用いただける教材です。

ベーシック 数学 I、A、II、B

ウォーミングアップ

- 次の計算をせよ。
 - $2x \times (-5x)$
 - $ab \times (-ab^2)$
 - $(-3x)^2$
 - $(2x)^2 \times 5x$
 - $x^2 \div 3x$
 - $6a^2b \div 2a$
 - $2a \times (-4a) \div 3a$
 - $(-x^2y) \div 5x \div (-2y)$
- 次の計算をせよ。
 - $(3a-2b) \times 2a$
 - $(2a+5b) \times 3c$
 - $3x \times (4b-2b)$
 - $(2x^2y+4xy^2) \div xy$
 - $(\frac{1}{3}x^2y + \frac{1}{2}x^2y)$
 - $(\frac{4}{3}x^2y - \frac{3}{5}x^2y) \div \frac{2}{3}y$
- 次の式を因数分解せよ。
 - $ax-4a$
 - $2x^2+xy$
 - $3ax-4bx$
 - x^2+5x+4
- 次の式を因数分解せよ。
 - x^2-6x+8
 - x^2+7x-8
 - x^2-5x+6
 - $x^2+3x-10$
- 次の各組の数の大小を、不等号を使って表せ。
 - $\sqrt{3}, \sqrt{5}$
 - $3, \sqrt{5}$
 - $-\sqrt{8}, -\sqrt{12}$
 - $-4, -\sqrt{7}$
- 次の計算をせよ。
 - $\sqrt{3} \times \sqrt{5}$
 - $\sqrt{5} \times \sqrt{11}$
 - $\sqrt{8} \times \sqrt{2}$
 - $\sqrt{5} \times \sqrt{18}$
 - $\sqrt{27} \div \sqrt{3}$
 - $\sqrt{65} \div \sqrt{5}$

ウォーミングアップ

学習する内容の前提として理解しておきたい知識事項などを復習するページです。学習内容に応じて適宜、コーナーを設けました。振り返り学習をすることで、新出内容へのスムーズな橋渡しを実現します。

BASIC

第1講 >>> 式の計算

学習のポイント

1 整式に関することば

$-4x^2y$ のように、いくつかの文字や数の積として表される式を単項式といい、かけ合わせた文字の個数をその単項式の次数という。また、文字以外の部分を係数という。例えば、 $-4x^2y$ の次数は ① であり、係数は ② である。とくに、文字 x に着目すると、次数は ③、係数は ④ である。また、 $A=2x^2+6x^2-x+4$ のように、単項式の和で表される式を多項式といい、多項式を作っている各単項式を多項式の ⑤ という。なお、単項式は項が1つの多項式と考えて、多項式を整式という。

整式の項の中で、含まれている文字が同じ項を同項という。
整理された整式で、最も次数の高い項の次数をその整式の次数という。
整式 A の次数は ⑥ である。
整式 $B=-4x+5x^2+6-2x^2$ を $5x^2-2x^2-4x+6$ のように、次数が高い項から順に並べることを ⑦ の順に整理するという。

また、 $6-4x-2x^2+5x^2$ のように、次数が低い項から順に並べることを ⑧ の順に整理するという。

⇔ 文字式の次数と係数
 $-4x^2y$ で文字 y に着目すると
次数 2
係数 $-4x^2$
単項式は着目する文字によって次数や係数が異なることに注意する。

⇔ 同類項の整理
同類項は係数の和を計算すると1つの項になる。
このことを同類項を整理する、またはまとめるという。

2 整式の加法・減法

整式 A, B の加法は $A+B$ の同類項をまとめる。減法 $A-B$ では $A+(-B)$ を計算する。 A に B の各項の符号を変えた式を加える。

例 $A=3x^2-4x+5, B=2x^2-x-3$ のとき
 $A+B=(3x^2-4x+5)+(2x^2-x-3)$
 $= (3+2)x^2 + (-4-1)x + (5-3) =$ ⑨
 $A-B=(3x^2-4x+5)-(2x^2-x-3)$
 $= (3x^2-4x+5)+(-2x^2+x+3)$
 $= (3-2)x^2 + (-4+1)x + (5+3) =$ ⑩

○ 次のように縦にそろえて計算してもよい。

$$\begin{array}{r} 3x^2-4x+5 \\ + \quad 2x^2-x-3 \\ \hline \text{⑨} \end{array} \quad \begin{array}{r} 3x^2-4x+5 \\ - \quad 2x^2-x-3 \\ \hline \text{⑩} \end{array}$$

point
同類項をまとめる仕組み
 $ma+na=(m+n)a$
 $ma-na=(m-n)a$

● 学習のポイント

新出単元の基本概念や公式をまとめた要点整理のコーナーです。穴埋め形式になっているので、ただ流し読みをするのではなく、思考の過程や公式への理解を意識化し、深めることができます。

●ターゲット

講の中での最終目標となる重要例題です。到達目標を提示することで、生徒のやる気をアップさせます。また、穴埋め問題となっているので、「ヒント」を見ながら自力で解くことができます。

●トレーニング

ターゲットの習得に至るまでのステップとなる問題です。徐々に難易度が上がっていくので、どこの段階でつまっていたのが明確にわかります。同じ種類の問題を何度も練習することで、学力の定着を図ります。

シート1

次の解答欄の□にあてはまる数または式を入れよ。

解説

$A = x^2y - 4xy - 3x + 5y^2$ について

この式の次数は□で、 x に着目すると次数は□であり、

また、 y に着目すると、次数は□である。

A を x について降べきの順に整理すると

$A = \square x^2 - (\square)x + \square$

A を y について降べきの順に整理すると

$A = 5y^2 + (\square)y - \square$

となる。

ヒント

→ 整式の整理
1つの文字に着目して降べき(昇べき)の順に整理することは整式を扱うときに有効である。

シート1の答え

① 3 ② 2 ③ 3
④ y ⑤ $4y+3$
⑥ $5y^2$ ⑦ x^2-4x
⑧ $3x$

トレーニング

1 次の単項式の次数と係数を言え。

□(1) $7x$ □(2) x^2 □(3) $-2ab^2$

2 次の単項式を x の式とみて次数と係数を言え。

□(1) $-2xy^2$ □(2) a^2x^2

3 次の問に答えよ。

(1) $5x^2y^3$ を、次の文字に着目したとき、次数と係数を求めよ。

□(1) x, y □(2) x □(3) y

(2) $4a^2bx^3$ を、次の文字に着目したとき、次数と係数を求めよ。

□(1) x □(2) a □(3) a, b

(3) $-8ab^2x^2yz$ を、次の文字に着目したとき、次数と係数を求めよ。

□(1) x, y, z □(2) x □(3) a

4 次の整式の次数と定数項を言え。

□(1) x^2+3x-1 □(2) $2x^2-3x^2+2x$ □(3) $4ab-5a+b-1$

7

まとめの問題

1 次の式の同類項をまとめて簡単にせよ。

(1) $x^2-x-3+4x-1$ (2) $x^2+2xy+2y^2-3xy-y^2$

2 次の多項式を x について降べきの順に整理せよ。

(1) $-2x-3x^2+4x^3-6$ (2) $3x+8x^2-4x^3+2x^4$

3 A, Bが次のように与えられているとき、 $A+B$, $A-B$ を求めよ。

(1) $A=2x^2+5x-3$, $B=3x^2-x+5$

(2) $A=4+3x^2-x$, $B=2x-3x^2-4$

(3) $A=3x^3+5x^2-3x+2$, $B=2x^3-3x^2+5x+6$

(4) $A=3+4x^2-x+3x^3$, $B=2x^2+x-4x^3+5$

(5) $A=x^3-5x^2+4x-7$, $B=3x^2-x+8$

(6) $A=x^2+3x^2+2x+3$, $B=5x-4x^2+2$

(7) $A=5x^3-2x+3x^2+4$, $B=4x^2-3+5x^2+8x$

(8) $A=5(2x-3y)$, $B=3(-3x+4y)$

(9) $A=\frac{x^2}{2}-\frac{xy}{4}+\frac{y^2}{3}$, $B=\frac{x^2}{6}+\frac{xy}{3}-\frac{y^2}{6}$

(10) $A=\frac{3x-5y}{4}$, $B=\frac{4x-3y}{3}$

(11) $A=2x^2-4x+\sqrt{3}$, $B=\sqrt{3}x^2+8x-2\sqrt{3}$

(12) $A=2\sqrt{5}-4x^2+\sqrt{3}x$, $B=3\sqrt{3}x-7x^2+4$

4 次の問に答えよ。

(1) $A=-3x^2+4x-5$, $B=4x^2-3x+7$, $C=2x^2+5x-3$ のとき、 $-A+2B+C$ を求めよ。

(2) $A=2x-3xy+y^2$, $B=-x^2+2xy-2y^2$, $C=x^2-3xy-3y^2$ のとき、 $A-2B+C$ を求めよ。

5 次の問に答えよ。

(1) $A=x^2-2x+3$, $B=-x^2-5x+7$, $C=-x+3+x^2$ のとき、次のものを求めよ。

① $A+B$

② $A-C$

③ $A-(2B-C)$

④ $A-(B-(2A+B)+C)$

(2) $A=2x^2-3xy+y^2$, $B=2xy-x^2+3y^2$, $C=-2y^2+5x^2+3xy$ とすると、次のものを求めよ。

① $A+B+C$

② $2A-B+3C$

③ $2B-C+\frac{1}{2}A$

④ $-3(A-2B+4C)+2(2A-3B+C)$

14

●まとめの問題

トレーニングやターゲットで学んだ知識がきちんと身についたかを確認するページです。融合問題を解くことで実践力を強化します。

運用例 (1コマ110分)

確認テスト(前回の復習) 15分

ウォーミングアップ 10分

学習のポイント 10分

ターゲット 5分

トレーニング 10分

まとめの問題 宿題

学習
ユニット
分を繰り返す

※その他の運用例

- 確認テストは、「前回の復習」としてではなく、当日の授業の最後や宿題に使用する。
- ウォーミングアップのない回は、まとめの問題を、当日の授業の最後に10分程度で使用する。
- *学習ユニット5回を想定。

※ベーシック数学の「学習のポイント」「ターゲット」は、スタンダード数学の「基礎学習」「例題」と同内容です。

※ベーシック数学の「トレーニング」は、精選トレーニングの問題と同内容です。

国語 JAPANESE



企画の概要

基礎・基本事項を習得することを重視したベーシックの国語。現代文では、文章の内容理解を徹底すべく、一つの文章を内容理解のために1回、問題を解くためにさらに1回扱うという、高校用国語教材としては非常にユニークな構成になっています。また、カリキュラムは大学受験を意識した文章分野別の編成で、高校教科書でよく目にする作家、大学入試頻出の作家の文章にじっくり取り組みます。中学までと比べ知識量や難易度が格段にアップする高校の古典では、中学の学習内容と高校の学習内容のギャップに戸惑い苦手意識を持つ生徒が少なくありません。これを踏まえてベーシックの古典では、一つの講の中でコーナー間の難易度差を抑え、少しずつステップアップできるように配慮。カリキュラム構成においては、適宜復習講を設けることでスパイラル式に知識の学び直しができるようになっています。

ベーシック 現代文

● 大意を把握する

- 文章を読んだ後で、まず、結論に向かう文章全体の流れをつかみます。文章を大まかな枠組みでとらえ、あらすじを確認します。細かいところに踏み込む前に、大枠を理解しておくようにします。

1 大意を把握する

日本の現代文は、アメリカやヨーロッパの基準に「目」を定めることが多く、即ち「目」が文章の骨格をなしている。この「目」を捉えることが、文章の大意を把握する第一歩である。

「目」を捉えるためには、文章の構造を理解する必要がある。構造を理解するためには、文章の「目」を捉えることが必要である。

「目」を捉えるためには、文章の構造を理解する必要がある。構造を理解するためには、文章の「目」を捉えることが必要である。

2 内容を解釈する

「目」を捉えた後には、その「目」が何を意味しているのかを解釈する必要がある。解釈するためには、文章の「目」を捉えることが必要である。

「目」を捉えた後には、その「目」が何を意味しているのかを解釈する必要がある。解釈するためには、文章の「目」を捉えることが必要である。

「目」を捉えた後には、その「目」が何を意味しているのかを解釈する必要がある。解釈するためには、文章の「目」を捉えることが必要である。

● 内容を解釈する

文章内容の理解を深めるために、内容をある一面から捉え直し、分解し並べ替えて図式化します。あらすじを捉えることから一歩進んだ作業です。文字を並べるのではなく、一目見てわかるように図式化することが理解の早道です。内容の「咀嚼」を行うことで、読解力・思考力を高めます。

「大意を把握する」「内容を解釈する」の二つの作業を通して、まずは文章内容をしっかりと理解します。このコーナーで扱っている内容は、通常の読解問題でも出題されやすいものとなっています。

ベーシック 古典

BASIC
第10講 助動詞(5)

学習のポイント(活用・推定の助動詞など)

活用

基本形	未然形	連体形	終止形	連体形	終止形
なり	○	なり	なり	なり	なり

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

確認問題

確認問題 1

基本形	未然形	連体形	終止形	連体形	終止形
なり	○	なり	なり	なり	なり

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

活用形は「なり」で終止形に接する。

学習のポイント

図や表が数多く取り入れられているので、複雑な文法事項を一つひとつ整理しておさえることができます。

確認問題

下段に掲載されている確認問題は、学習のポイントを見れば解けるレベルになっており、問題を解きながら基礎・基本事項を習得することができます。知識のインプットとアウトプットを効率よく進められるレイアウトになっています。

基本問題

学習のポイントや確認問題で学んだ文法事項について、易しめの問題から標準的なレベルの問題までを解くコーナーです。確認問題との難易度差が拡がり過ぎないように問題のレベルが調整されているので、無理なく知識の定着を図ることができます。

演習問題

易しめの文章を通して「基本問題」レベルの問題を解くコーナーです。文法問題を中心としつつ、適宜、内容解釈に関する問題も扱われているので、文法の知識を読解に結びつける力を養うことができます。

重要古語チェック

大学入試の古典を読みこなせるようになるには、文法力だけではなく語彙力、つまり古文単語に関する知識を積み重ねておく必要があります。これを踏まえ、各講に古文単語の意味を確認するコーナーを掲載。また、単なる暗記作業に陥らないように、例文と現代語訳を掲載し、古語の意味を文脈から類推して解くという設問形式になっています。漢文の講では、基本句形を扱っています。

復習問題

本教材には、数講に一度、それまでの内容を復習するページが設けられています。一度学んだ文法事項を重ね塗りのようにして復習することで、盤石の文法力を身につけることができます。また、その講までの「重要古語チェック」で扱った古語の復習問題も掲載されています。

文語文法要覧

「力変の連体形は?」「この助動詞の接続、何だっけ?」…。そんなとき、文法事項を手早く確認できるよう「文語文法要覧」を巻末に掲載。主要項目(動詞・形容詞・形容動詞・助詞・助動詞・敬語)が網羅されています。

動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞	動詞
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----